

日本基督教団 東中国教区ニュース

NEWS

東中国教区
教区ニュース誌委員会
〒770-0088
倉敷市鶴形一丁目五
倉敷キリスト会館内
TEL 086-422-1780

説教「担い、背負い、

救い出す神」

・米子教会・

牧師 野々川 康弘

「イザヤ書46章1〜4節」

△私達の偶像▽

古代中近東では戦争はそれぞれの国の神の戦いだと考えました。ですから戦勝国は初めに相手の国の偶像を壊し勝利を宣言しました。それは敵国のアイデンティティーや誇りを奪うことだからです。だからこそ敗戦国の人は自らの命をも省



9月1日に行われた米子教会の定礎式

代でも似たことがあります。偶像は何もキリスト教以外の神のことだけではありません。これさえあれば自分は幸せになれると固執するものも私達の偶像であり、重荷となりうるものです。

△涙を知る▽

作家三浦綾子さんはこう述べています。「私は長い病気の間、この世に病気がなければ良いと思った。自分の人生に、こんなに病みつづける日が来ようとは…と嘆いたこともあった。だが、今となつては、自分の人生をふり返ってみるのに、その受けた試練は、宝石のようなものだと感じている。もしも今まで、ただの一度も試練に遭わず、つまり愛する人との死別にも遭わず、病むことを知らず、思いのままになる人生であったとしたら、私は涙というものを知らない人間になったであろう。」三浦綾子さんは、主の十字架を見上



みずに偶像を家畜に背負わせて逃げたのです。その時、偶像はかえって重荷となつたのです。現

目次

説教「担い、背負い、救い出す神」	1
「二〇一九年度第二回宣教会議報告」	2
「新任教師オリエンテーション」	3
「まびくら」にまあいっぺん来て見られえ	4
「山陰ファミリーキャンプ」	5
「ナインの会にご参加を」	6
教会紹介 倉吉上井教会	7
「こんにちは」のお部屋・教区事務所新職員紹介	8

げる中で自分の病に対する再解釈が起こったのです。病は宝石のようで涙を知る貴重な財源だと気付かれたのです。

これは主の御業です。生活する中で私達が固執しているものは沢山あります。しかし主の十字架を見上げて、それらを主に差し出すならば、違う景色が、幸せが見えて来るのです。自分の問題、課題についての再解釈が起こって、本当の意味で重荷から解放されるのです。

△主の御業▽

新共同訳では四節で三回「私」という言葉が出てきます。しかし、原文では四節で十回も「私」という言葉が出て来ます。つまり、「私」(神)こそが、私達人間を「担い、背負い、救う」御方であることを四節の御言葉は力強く宣言しているのです。しかし、罪深い私達はそう簡単に固執しているものを手放すことが出来ません。だからこそ、そういった罪も私達が生まれる前から終わりの時まで神が「担い、背負い、救う」ために主の十字架の贖いの御業がなされたのです。

二〇一九年度第一回宣教会議報告

報告者 服部 修

はじめに

二〇一九年八月一九日(月)に、光明園家族教会を会場にして、二〇一九年度第一回宣教会議が開催された。今回の宣教会議は、第六八回定期教区総会にて可決された議案十一号「東中国教区の宣教強化に関する件」の具体化に向けて、最初のステップとなる。とりわけ、教会強化特別資金運用規程デザインを、形あるものにしていくために、皆が集まり、意見を寄せ合うこととなった。大まかな流れとしては、「デザインに対する質問のまとめ」、「デザインへの意見と議論の内容のまとめ」、「教会強化特別資金運用規程改訂案への見通し」に沿って話し合いの時を持った。

デザインに対する質問のまとめ

すでに教区総会時の夜のセッションおよび議事が上程された中でも質問などが出されたが、確認の意味を込めて再度話し合った。おそらくは運用規程の内容にも関わるこ

とになるが、デザインの中で表現されている「すべての教会」と「協働する教会」の関係性についての質問があった。例えば、兼牧とこれまでの兼務・代務との違いがどこにあるのか、など。協働(兼務)したくても教会の事情で出来ない場合も想定される中で、状況による違いがやはり出てくるのではないのか、という質問がなされた。

だからこそ、このことをきっかけにして、教区内の教会が、今どのような状況になっているか知りあうことができれば良いのではないかと、この意見が出された。

デザインへの意見と議論の内容のまとめ

意見として最初に出されたのが、原資に関連してである。つまり、原資として日本基督教団の伝道資金を見込んでいる問題、さらには、教会強化特別資金の献金が減っている問題を考慮しなければならない。この点については、昨年度の宣教構想懇談会の中でも話題になったことであり、やはり教区内における信頼関係がどのようになっていくのか、ということがポイントになってくると思われる。というのも、信頼関係が無ければ献金がささ



光明園家族教会での宣教会議の様子

げられることはないし、逆に信頼関係がきちんと構築されていくならば、もっと盛り上がるからである。盛り上がりが無いのに制度を作ってもどこまで運用できるか分からない、といった厳しい意見も出された。

もちろん、制度の設定も大事ではあるが、デザインの主眼は、制度変更よりも東中国教区が宣教における協働を大切にしよう、という意識を持つことにある。これは協働、これ

は協働ではない、という区分けを目指しているわけではない。教会の活動を支えるためのものであることの理解を深めるとともに、経過措置を盛り込むことによって、新しい制度になったから教会にいらなくなった、ということがあるようにして欲しい、との意見も出された。

教会強化特別資金運用規程改訂案への見通し

具体化のために、規程改訂案策定のためのチーム作りをして欲しい、という意見が先ず出された。

その上で、原資として教団の伝道資金を用いるなら、伝道資金の運用規程六に則つてもraitたい、との意見が出され、それに対しては、デザインの中に執行の審査があるわけだから、審査のところで決めたら良いと思う、という意見が出された。

また、「協働」については、今考えられる形だけではなく違うものも出てくる可能性があるあることを考慮して改定案が検討されるべきではないか、という意見、具体的な案をもつて話し合いたい、という意見も出された。

最終的には、改訂案策定のためのチーム編

成が常置委員会に委ねられ、常置委員会で選任されたチームによって、今後具体的な議論が積み重ねられていくこととなった。議案十一号の実質化のために、引き続き祈っていただきたい。

新任教師オリエンテーション

湖山教会 木谷 実

八月一八～一九日に行われました新任教師オリエンテーションと光明園でのフィールドワークに参加させていただきました。

東中国教区の組織や制度、これからの課題など説明を受けた中で、印象的だったのは教師支援派遣事業についてです。これは主任牧師が休むため代わりに礼拝説教をする教師を派遣する制度との説明を受けました。具体的な説明を受けるまでは、夏季休暇や長期入院、療養など特別な事情で休まなければならぬ場合に用いられるものだと思っていました。それだけではなく「その教会で長く牧会

をしていくために、何んでもなくこの事業を使って休んでください。」との説明を受けました。休む、ということが悪いことだと思っていたら、このような制度を作ることにはできません。そして代わりの教師を探すのに一苦労する教会のことも、よく分かってくれている事業だと思います。休まないことが偉い、強いと考える人もおられるでしょうが、効果的に休むことで、教会も教師も長く一緒にいられるのでありましょう。翌日に体調を崩した私としては、休むことを肯定的に捉えてくれている良い例となるのではないかと思います。

翌日の光明園でのフィールドワークでは、現地でなければ見ることも聞くこともできない差別があった事実の一端を知ることができました。「ハンセン病の人が隔離され、差別を受けていた」という漠然としたことしか知らない私にとって、現地に行かなければ分からないことです。知った気にならず、行ってみる。教区の説明もフィールドワークも、気付きの多い二日間でした。



「まびくら」に

まあいっぺん来て見られえ

和気教会
三石教会
延藤好英

〈まびくら〉

昨年七月の西日本豪雨のあと、倉敷市真備町に、被災した店舗をお借りし、改装して生まれた「まびくら」をご存じですか。「まびくら」のぬくもりを」という願いを込めて「まびくら」と名付けられました。岡山キリスト災害支援室（構成員は、岡山県宣教の集い、YMCAせとうち、日本基督教団東中国教区）で運営しています。二〇一八年一月から二〇二一年三月までの活動予定です。毎日午前一〇時から午後五時まで、専属のスタッフがいて開館しています。

「まびくら」が取り組んでいることは三つの事柄です。

- ① 居場所作り
- ② 子ども支援
- ③ 仮設支援

〈歌声喫茶〉

わたしたち三石教会と和気教会は、今年の五月から毎月第三水曜日午後一時半から「まびくら」で歌声喫茶を開催しています。①の居場所作りの一環です。ギター、ベース、ピアノ、ジャンベに合わせて、一時間ほど一緒に歌を歌い



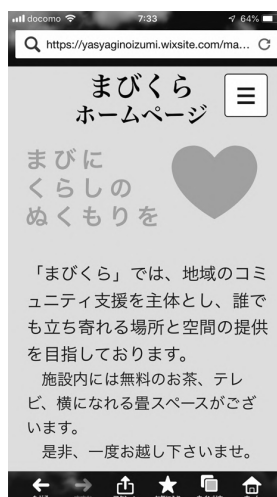
歌声喫茶のバンド

ます。「街」「涙そうそう」「長崎の鐘」「憧れのハワイ航路」「リンゴの唄」など、参加する方々のご存じの歌を中心に一緒に歌います。賛美歌も一曲は歌うようにしています。真の拠り所であるイエスさまとつながっていただけをお願いつつのことです。

その後、用意した飲み物とお菓子をいただきながら、テーブルごとに三〇分ほど語り合っています。豪雨にあった時の事、その後の大変だったこと、今の問題など、いろいろ語ってくださることに耳を傾けます。この活動は東中国教区の活動として交通費など必要経費は教区から支給されています。

〈ホームページ〉

「まびくら」の場所やイベントなどの案内は、常時ホームページで紹介しています。パソコンからでもスマートフォンからでも「まびくら」で検索してみてください。



ホームページのトップページ

〈運営委員会〉

運営委員会には各団体代表者だけでなく、「まびくら」の改修工事費を一手に引き受けてくださった日本基督教団から加藤誠教団世界宣教幹事も参加してくださっています。

「まびくら」という一つの拠点で、様々な教派の教会が心を一つにし、力を合わせています。被災された方々のニーズに応えることができるようお祈りください。



歌声喫茶の一場面

「山陰ファミリィキャンプ」

倉吉上井教会 奥田 望



鳥取県西部地区は、西中国教区山陰東分
と「山陰ファミリィキャンプ」を共催してい
ます。今年は八月七日（水）～九日（金）ま
で、岡山県真庭市の蒜山バイブルキャンプ

において行われ、三十二名の参加がありまし
た。両区外からもたくさんの方が参加してく
ださり、にぎやかなキャンプになりました。

続けて参加している子どもたちは、あつと
言う間に一年のブランクをうめて、一緒に楽
しんでいます。新しい子どもたちもいつの間
にかそのペースに巻き込まれ、すぐに誰が初
参加だったか分からなくなってしまうぐらい
の光景には、いつも感心させられています。

そんなメンバーとともに礼拝をし、バーベ
キュー、川遊び、ゲーム、花火やナイトウォー
クなどのプログラムを楽しんでいます。

参加している子どもたちの教会との関わり
も様々です。家族の方と共に毎週のように教
会に通っている子どももいれば、一年の内で
キリスト教にふれるのはこの二泊三日だけと
いう子どももいます。そのような子どもたち
が、大自然の中で、仲間と一緒にしぜんなか
たちでキリストの愛にふれる機会になればと
願っています。

なかなか教会単独でこのようなプログラム
を持つことができない教会が少なくない、参
加者を送り出すのも難しい中で、このキャン
プの意義を認め、大切にしてくださる両分地
区内諸教会の思いによって続けられているこ
とも強く思わされ感謝しています。



「ナインの会にご参加を」

ナインの会代表者 田中佳穂理



岡山博愛会教会を訪問

ナインの会は、岡山県中部地区の教会の女性の会で、年二回の予定で集会を企画しています。第一回は日帰りバス旅行で、第二回は講演会です。

二〇一六年にナインの会結成十五周年特別伝道企画「信仰の継承と教会の再生」として県

北の教会を訪問しました。その時に、ヨルダン会の後援と多数のご参加があり感謝でした。

このバス旅行で大好評を頂きましたので、

二〇一七年には岡山県西部地区へ、二〇一八年には岡山県北部地区へ行きました。ただ、大型バスを使つての移動のため通れない道幅だったり諸事情により、車中から外観を見せていただいただけの時もありましたし、まだお伺いしていない教会もあります。そして今年度は、東部地区にある十二教会のうち岡山聖心教会・岡山博愛会教会・旭東教会・玉野教会の四教会を訪問させて頂きました。以前に行ったことがある方も初めて行かれた方もそれぞれに感じるものがあつたかとは思いますが、そこに教会がたてられた事に神様の御手がはたらいているのだと感じられたのではないのでしょうか。

どの教会でも温かくお迎え下さって、教会の成り立ちや歩みなどを丁寧に説明して下さい。感謝の気持ちでいっぱいになりました。特に岡山博愛会教会では、昼食を頂く時間と場所も提供して下さい。隣から聞こえてきた子ども達の声も心地良く感じたのは、私だけではなかったと確信しています。私達の中部地区にとっては、お隣の地区の教会で近いようなのですが意外と遠い教会です。でもお伺いして共に祈り讃美することで、教会の

歩みと共に教会に集う方たちの信仰や信仰の継承そして教会の再生を感じて頂けたのではないのでしょうか。

第二回のナインの会ではここ数年は、倉敷教会を会場にして講演会をしています。クリスチャンとしての歩みやエンディングについて、また身近な文学の世界から等々いろいろな視点から講演して頂いています。座って話を聞くだけでなく、一緒に歌ったり身体を動かしたりする時間もあり「楽しかった!」と言うお声も多く聞かれます。次回もぜひご期待下さい。そして皆さんのご参加をお待ちしております。



玉野教会にて

教会紹介

・倉吉上井教会・

田中英也

「上井教会と倉吉復活教会の歩みと合併」



教会正面より

「上井教会」は、一九五〇年四月倉吉市宮川町に「倉吉東部伝道所」として教団に認可され創立した。一九五七年に「倉吉東部教会」として設立された。一九五九年五月に村島宏伝道師が招聘され、一九六三年十二月倉吉市上井町に会堂建築がなされ「上井教会」として移転

した。一九六四年に正教師となられ、一九九七年三月まで三八年間この地で牧会され、「村島先生の教会」と呼ばれる程であった。一九九七年四月に藤原寛人伝道師が招聘され、一九九八年に正教師となられ、二〇〇〇年の創立五〇周年記念日を迎えた総会において、会堂の床の破損が激しいために、五年以内に新会堂・牧師館を建築すると決議され、主のたいなる恵みにより二〇〇四年五月に会堂の献堂式が挙行された。二〇〇七年四月より奥田望牧師が招聘され現在に至る。

「倉吉復活教会」は、岩越政蔵牧師がアメリカのアドベント基督教団宣教師として帰郷され、一八九八年一〇月倉吉市東岩倉町に「倉吉基督再臨教会」として創立された。第二次大戦後来日した宣教師によって、一九五一年「倉吉アドベント基督教会」として再興され、一九六五年にこの地に新会堂が献堂された。しかし、一九七九年に日本アドベント基督教団を脱退し、単立の「倉吉復活キリスト教会」（増田實牧師）となった。その後、牧師が病氣辞任され無牧となり、二〇一〇年に日本基督教団加入の申請がなされ、二〇一一年三月に「倉吉復活教会」として認可され、奥田望牧師が「上井教会」との兼務教師として就任された。そして、二〇一六年十月二二日の鳥取県中部地震により会堂での礼拝活動が困難となった。

震災後より両教会員は上井教会において合同礼拝を守ってきた。また、二〇一七年度に倉吉復活教会が解体され、翌年土地も売却された。この間、合同合併委員会を立ち上げ、新教

会の名称や教会規則の制定を作成し、二〇一八年四月に別々に総会を持った後、上井教会に合併する事として新しい教会の総会を持ち、一八年度より現住陪餐会員三一名の「倉吉上井教会」の歩みを始める決議がなされた。そして、五月の東中国教区総会において「倉吉上井教会」として承認され、教団には一九年七月一七日付で二つの教会の合併が承認された。

《余録》二〇一九年九月八日「恵老の日」〈礼拝説教〉コヘレトの言葉 一一・九―一二・八

〈祝福会〉三かく形の言葉

①汗をかく ②恥をかく ③文字を書く

信徒の友三月号短歌

「合同の教会なれば新しき出会いと学びあるを喜ぶ」

高多彬臣兄



礼拝の風景

「こんにちは」のお部屋

「教区事務所 新職員紹介」

片山由美子さんにインタビュー

主よ、あなたは私の神

私はあなたを崇め御名に感謝をささげます。

あなたは驚くべき計画を成就された遠い昔からの揺ぎ無い真実をもって（イザヤ二五・一）



一．信仰暦

小学校一年生で教会学校へ。自衛官の父の転勤で各地の教会に集い、祈られ、高二で家族と受洗。日本に重荷を持ち、米国の神学校で牧会カウンセリングを学び、会社勤めを経て、東日本大震災を機に直接献身へ。御徒町キリスト教会より国内宣教師として災害支援へ派遣され、現在、大叔母の介護で碎かれ中。

二．東中国教区事務所で働きたいと

思った動機

昨年末、和気教会祈祷会で教区内に四八教

会があると知り、主の民が礼拝を守り宣教の御業が進められて来た事に感動。神学校時代に Church Health (教会の健全さ) に関心を持ち、教会が栄光に輝くキリストの花嫁として建て上げられる為に働きたいと願っていたので、募集を見て御心を尋ねました。

三．先日、第六八回東中国教区定期総会の準備と手伝いなどで感じたこと、印象に残っていることは

私達ではなく、主よ 私達ではなく

あなたの御名こそ、栄え輝きますように

あなたの慈しみとまことによつて。

(詩一一五・一)

主の御助けが様々にあり御言葉の通りです。前任の倉橋さん、会場の鳥取教会、背後の忠実な祈り手や働き人など…ただ主への畏れと感謝です。

四．東中国教区事務所で働いて感じたこと

全てが学びで感謝。主のチームが御国の為に協力できるよう、祈りの必要を覚えます。

五．好きな聖書箇所と賛美歌

・詩編二七・四

・ Be Thou My Vision

・ II 賛美歌一五九 「御心に従い」

六．個人の趣味、特技

・ 片付け

七．東中国教区の各教会への要望

- ・ 各教会が宣教に励むお手伝いが充分でできるよう、お祈り下さい。
- ・ 知らない事が多いのでお気づきの点があれば教えて下さい。
- ・ 祈りに覚えたいので、感謝や祈祷課題を共有頂けたら幸いです。

編集後記

秋を迎えて日に日に涼しくなるこの頃。鈴鳴く声を耳にして、実った栗を手にとつて、会うべき秋刀魚はまわり道…。季節の風を感じつつ、神のなさることは時宜にかなつて美しいと思われまします。この秋の良きときに、ニュース誌を皆様のもとにお届けできることを感謝いたします。多くの方が寄せてくださった言葉を、ぜひゆくりとお読みいただければと願っています。皆様のご意見やご感想もぜひお気軽にお寄せ下さい。

(W)



★ハラスメント相談窓口★

毎月第三水曜日 午前九時～午後九時
電話番号 ○九〇―一三三〇―八七三〇